

② スリット式換気は外気温が低い冬季に適した方法で、通気路の一部をスリット状に開けて換気量を調節する。(写真35)

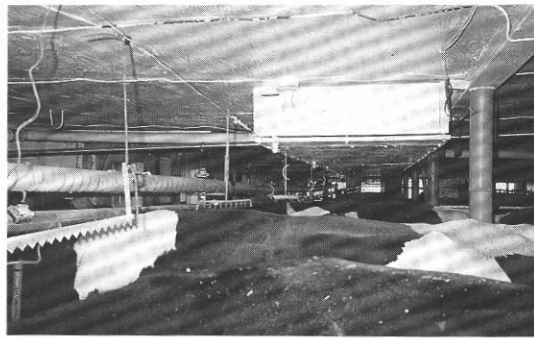


写真35 スリット式換気扇

③ ダクト式は頭部に新鮮な空気を吹き付けて、牛の近辺の暑さを防ぎ乾燥を進める方式で、簡易に設定できる。(写真36)

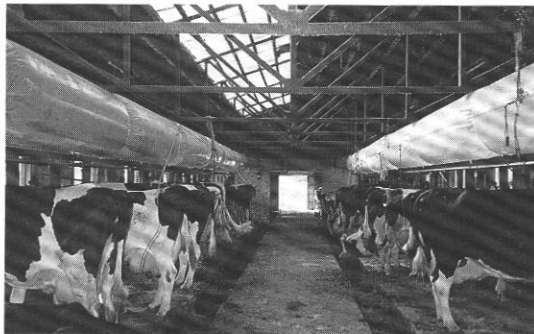


写真36 ダクト式換気扇

この他にもいろいろと工夫して乾燥を図っている例はいくつも見られると思います。

いずれにしても牛舎の乾燥促進は重要な管理作業のポイントであり、乳房炎や子牛の呼吸器障害などの感染性疾病を防ぐのにも効果があり、是非とも取り組んで欲しいものです。

また、石灰の塗布や通路への散布も、乾燥と同時に臭気を吸収してくれます。

(3) サイレージの臭気対策

① 良質サイレージの調製(特集「おいしいエサ」平成5年第21集:南根室地区農業改良普及センター)

芳香のするサイレージ作りには乳酸菌の活動し易い条件をつくることで、そのためには

ア 栄養分の多い時期の原料を収穫し水分は75%程度に予乾する。

イ 天候不良時の調製としてはビートパルプなどを利用して水分調整をする。

ウ 空気と接する時間を少なくするため、短期間に十分踏圧し密封する。

② 取り出した後の管理

サイレージは取り出した直後から変敗し始めます。取り出し口は空気が入り込まないように被覆しておくことや、取り出したサイレージは早く採食させることです。残飼は直ぐに処理します。

③ 廃汁の臭い

廃汁が溜まった状態で放置されると強い酪酸臭を発生します。これも畜舎内にこもると不快臭になります。廃汁が溜まらないように排出する方法を考えることも必要です。

(4) 糞尿の貯留場の臭気対策

(糞尿の貯留処理方法)

一般に空気を好む好気性菌は有機物の分解が早く臭気も少ない傾向にあり、ばっ気装置などが使われています。また、嫌気性菌は分解が遅く時間が掛り、臭気は極めて強いのが特徴となっています。

① 水分の調整

糞の場合、水分を早く取り除くことで空気が入り好気性菌の活動で分解を早め、臭気を少なく弱めることができます。

② 除臭剤の散布

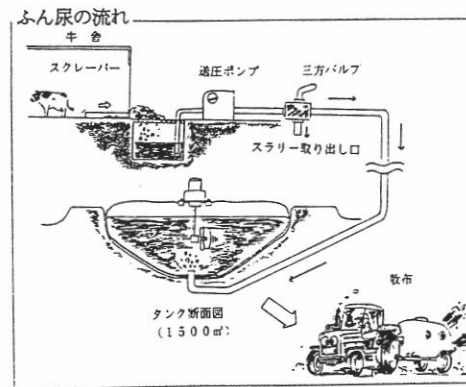
臭気の中和剤として石灰があります。また吸着剤としてゼオライト・活性炭が一般的です。

③ ばっ気法

スラリーの場合、ばっ気して酸素を供給することで臭気を軽減できます。

④ 密封法

容器を封鎖して臭気を外に出さない方法で、その一例としてスラリーバック等があります。



(5) 糞尿、スラリー散布時の臭気対策

図6 スラリーバックの設置例

散布時の臭気が広範囲に影響し苦情が出るもとなっています。

雨の降りそうな時に散布したり、風向によりタイミングを考えることも必要です。

休日や催事の前日などは申し合わせでもして散布を控えるようにしては如何でしょうか。

すこしでも臭気を少なくするために考えられた散布機を紹介します。

(スラリーインジェクター)

土壌中の深さ30cm位いの所に横に穴を開けて行きながらスラリーを注入していく機械で、表面にはあまり糞尿を出さないため臭気も相当少なくなるというものです。

心土破碎や弾丸暗渠の機械にスラリーを注入します。

土層改良にもかなり有効です。

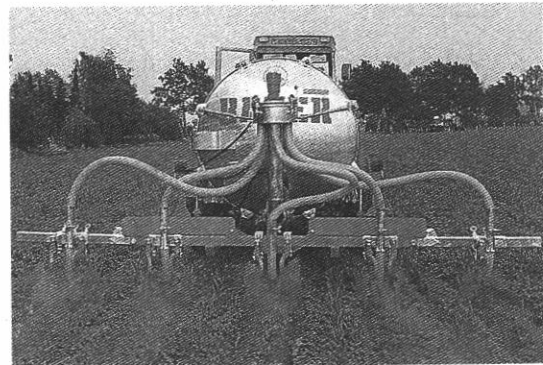


写真37 スラリーインジェクター